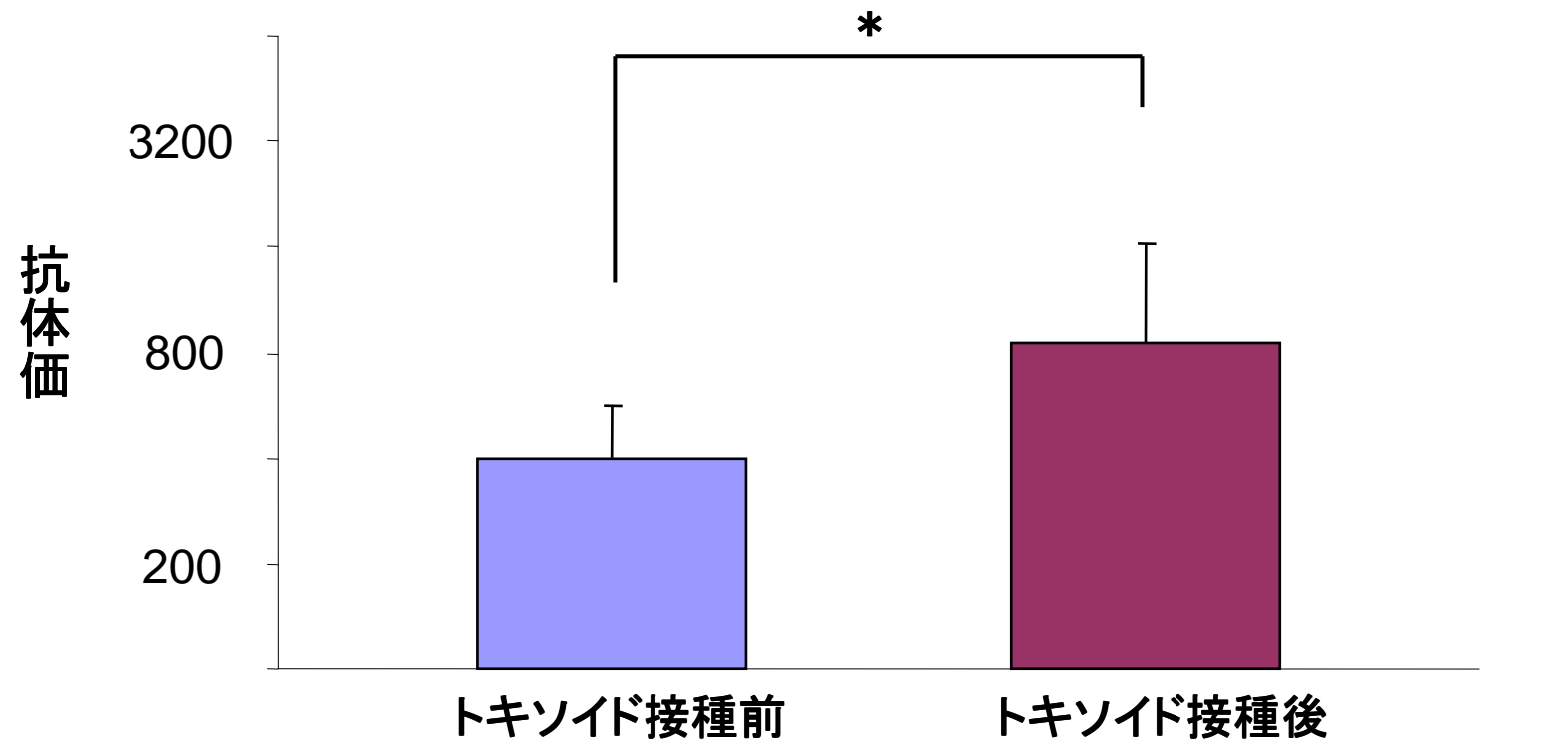


図1 廃用牛の剖検所見

部位	1例目	2例目	3例目
肺	○	○	
心臓		○	
肝臓	○	○	○
胃	○	○	
小腸	○	○	○
大腸	○		
脾臓		○	
腎臓	○	○	
その他	○	○	

○: 病変を認めた部位

図2 C.Perfringensに対する抗体価



(* : $p < 0.05$)

図3 血液データの比較

	接種前* ¹	接種後* ¹	病畜* ²
T-Bil (mg/dl)	0.5±0.2	0.5±0.3	0.8±0.8
GOT (IU/L)	53±19	43±14	356±234
GPT (IU/L)	20±4.7	19±9.4	—
Glu(mg/dl)	58±13	51±7.1	—
T-Cho(mg/dl)	136±30.5	116±28.7	—
BUN (mg/dl)	12±2.4	12±1.6	8.6±2.1

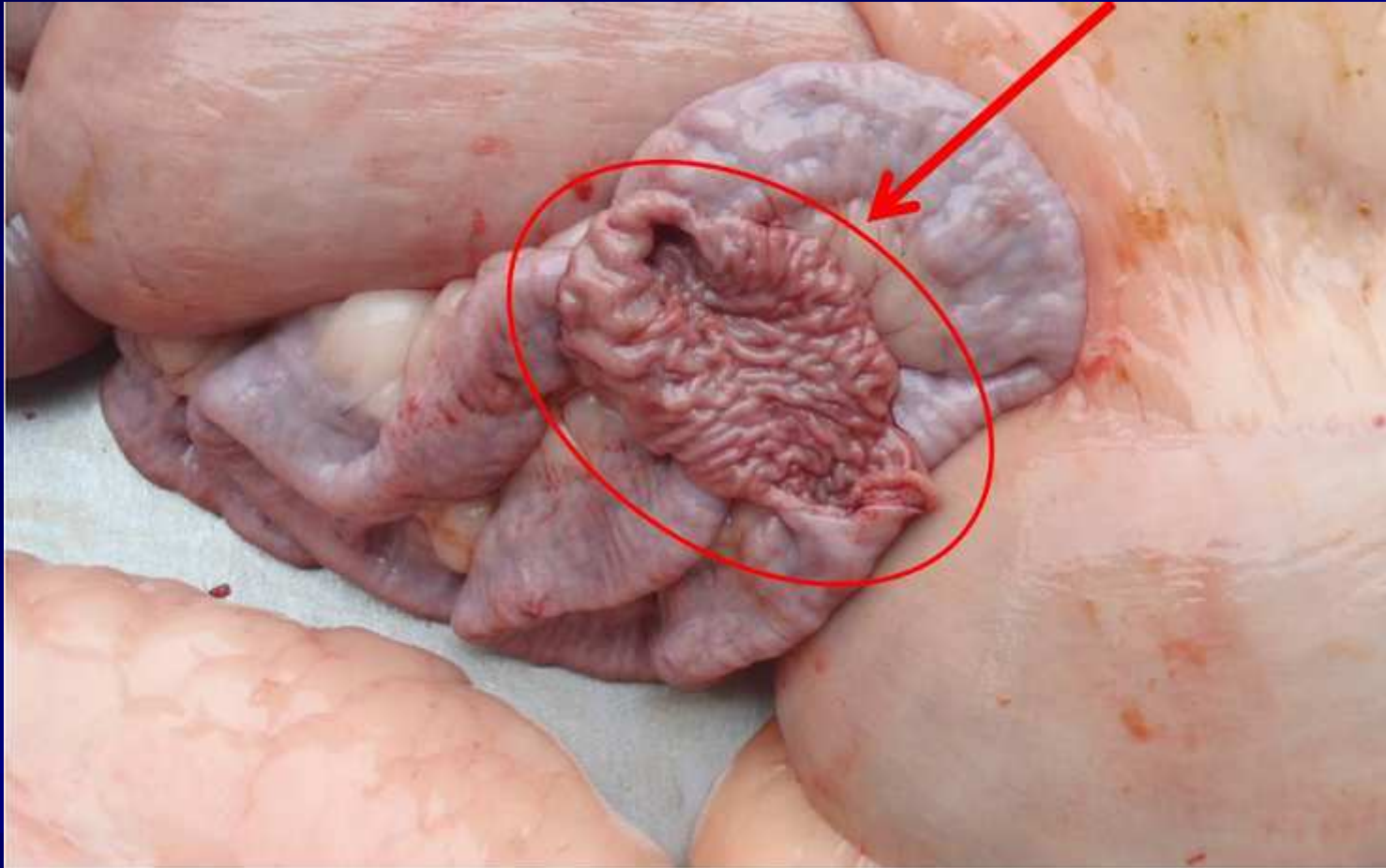
*1 n=10, *2 n=3

図4 廃用牛の剖検所見(対策後)

部位	4例目	5例目
肺		○
心臓		
肝臓	△	△
胃		
小腸	△	
大腸		
脾臓		
腎臓	○	
その他	○	○

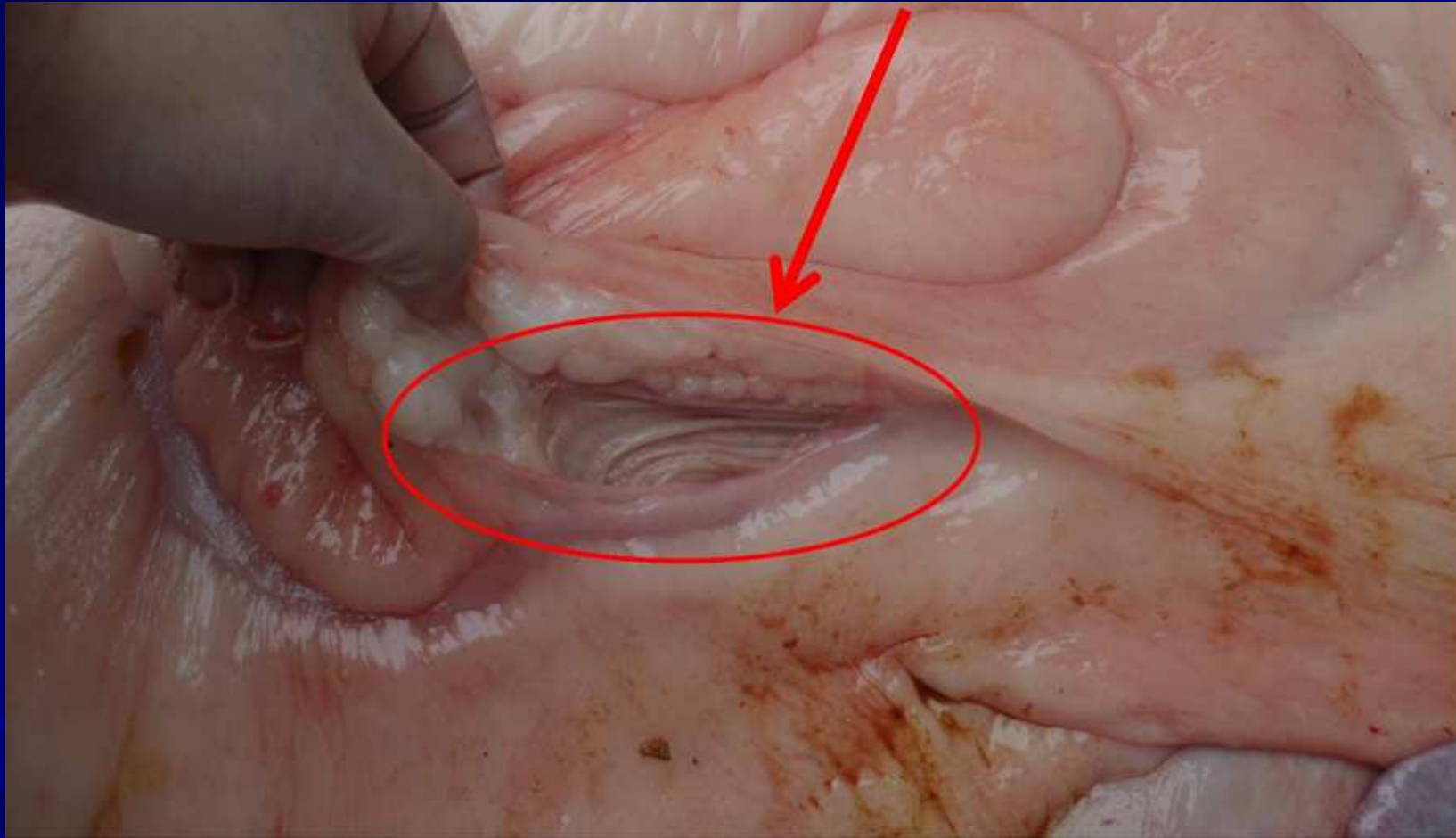
○:病変を認めた部位 △:軽度病変を認めた部位

図5-1 トキソイド接種後のと畜検査写真



空回腸部 軽度の充血が見られた

図5-2 トキソイド接種後のと畜検査写真



結腸部には異常を認めず

図6 C.Perfringensに対する抗体価比較

